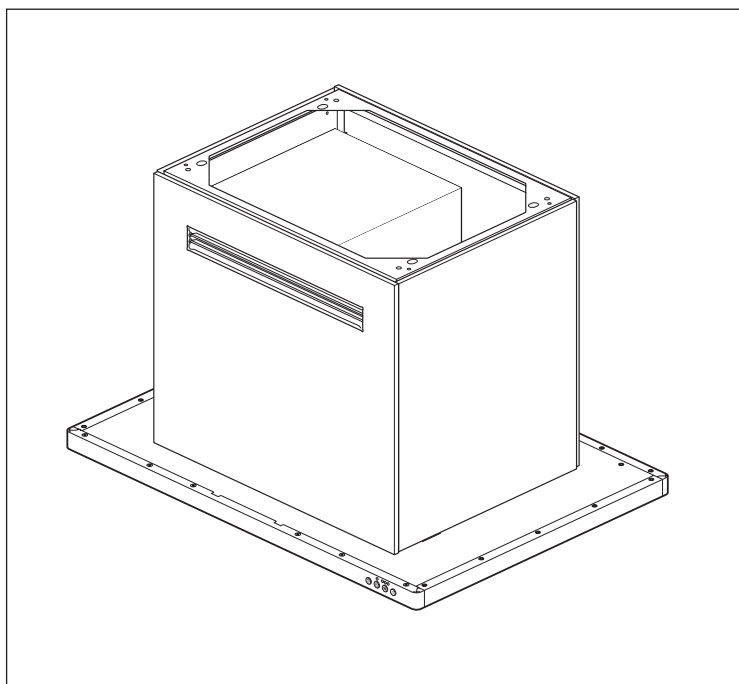


# IHクッキングヒーター専用 室内循環フード 取付説明書



## も く じ

安全上のご注意.....	2～3
取り付け上のお願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5～7
各部のなまえ.....	8
付属品.....	9
製品寸法図.....	10
取り付けかた.....	11～27
1. 付属品の確認.....	11
2. フード・本体の準備.....	12～13
3. 本体の取り付け.....	14～16
4. 循環フレーム本体の取り付け.....	17
5. フードの取り付け.....	18～20
6. 各フィルターの取り付け.....	21～23
7. 電気配線.....	24
8. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け.....	25
9. ルーバーの調整.....	26
10. 取扱説明書の取りはずし.....	26
11. 試運転.....	27
12. お客様への説明.....	27

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、  
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 3381



\* 1 J 0 3 3 3 8 1 \*

# 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 警告



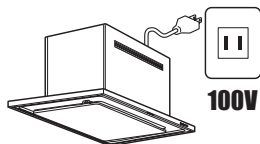
分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止  
ガスコンロには使用できません。  
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります。



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする  
本製品は屋外への排気および換気をおこないません。  
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください。  
一酸化炭素中毒の原因となります。



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

# 安全上のご注意

## 警告



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること  
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フード本体と可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります

## 注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと  
(浴室用換気扇をお使いください)  
感電および故障の原因になります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しないこと  
内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・ボンド等）を使用中や使用直後に運転すると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し口から放出され、健康を害するおそれがあります  
施工時は別途換気をおこなってください



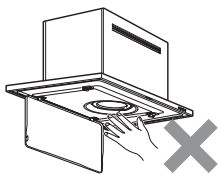
取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります



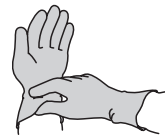
接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります



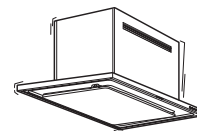
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



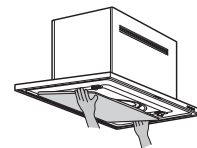
取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



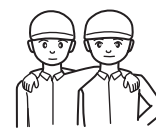
取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと  
室内循環フードは約41 / 42kgの重さがあります



# 取り付け上のお願ひ

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工事**

- 【設置のための下地工事等】

- **配線工事**

- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター  
利用以外の配線接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。

IHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。

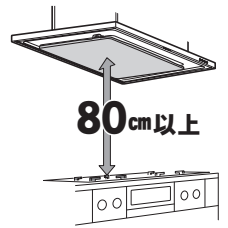
- 室内循環フード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。

本体の取付用座付ねじは25mmの長さのものが同梱されておりますが、下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。

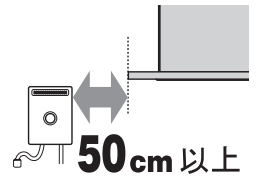
また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- 室内循環フードはIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。

なお、室内循環フード取付高さは、室内循環フードの下端がIHクッキングヒーターの真上80cm以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm<sup>2</sup>程度の空気取入口を設けてください。

- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

# 取り付け前の調査と準備

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること  
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります

## 注意



取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります



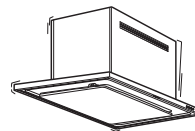
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります

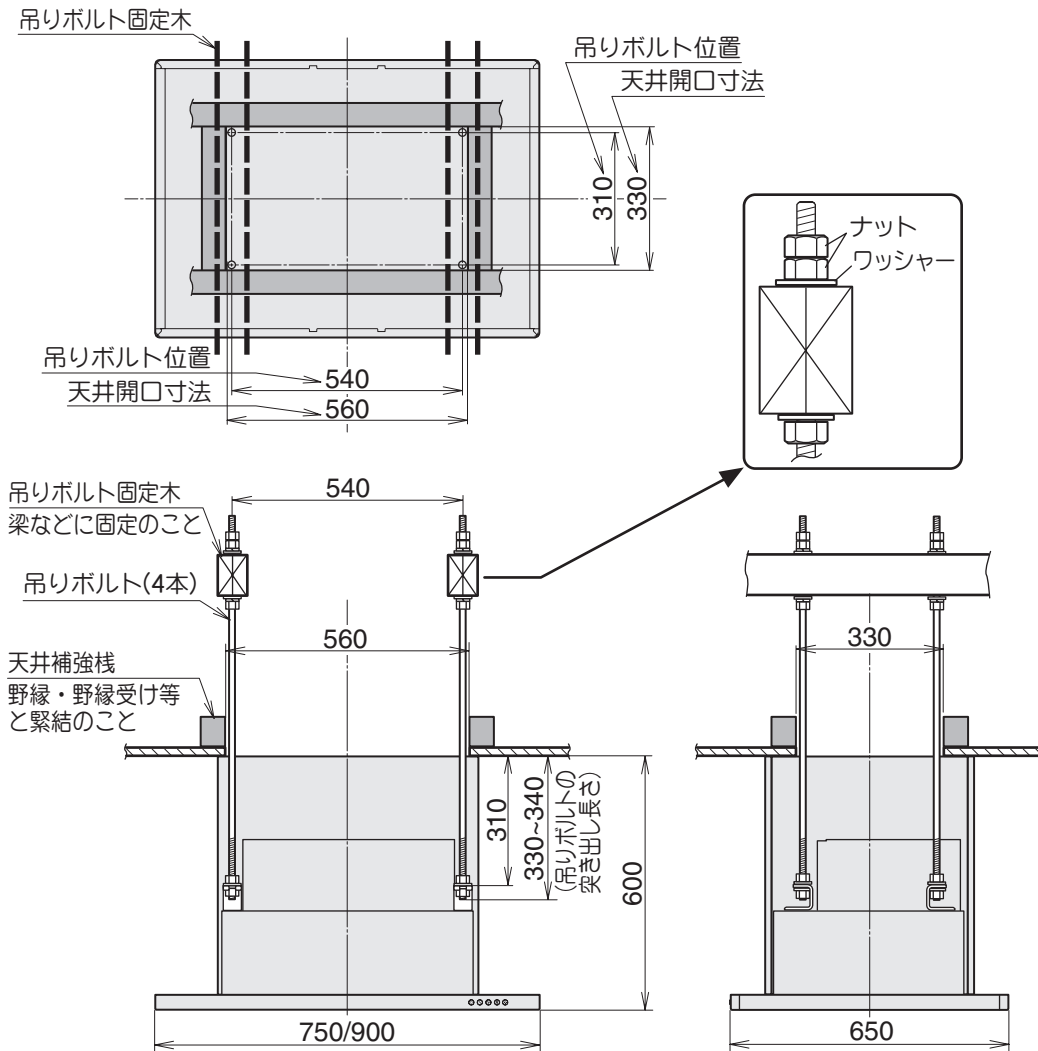


# 取り付け前の調査と準備

## ■ 取付要領図

### 別売のスペーサーを使用する場合

吊りボルトの突き出し長さが異なります。  
詳しくは別売品に付属の取付説明書をご覧ください。



### 1 取付箇所の強度確認

製品を支える強さが必要です。

	製品単体質量
750 幅	約 41kg
900 幅	約 42kg

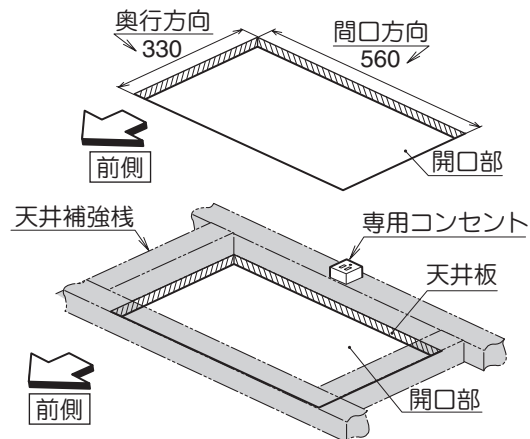
# 取り付け前の調査と準備

## 2 天井面への穴あけ

- 1) 天井面の本体を取り付ける位置に間口 560mm × 奥行 330mm の開口をあけてください。
- 2) 開口部周辺を補強枠で補強してください。  
※ 補強枠は、野縁・野縁受け等に固定してください。

### お願い

コンセントは電源コードの突き出し長さを考慮して設置してください。



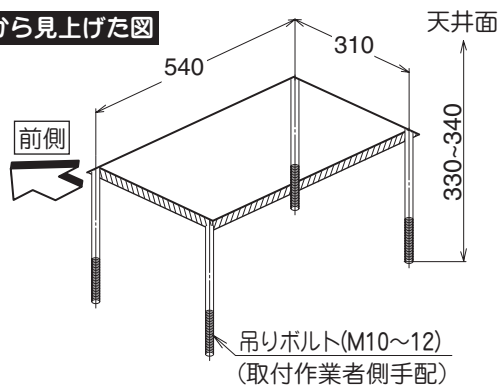
## 3 吊りボルトの取り付け

- 本体の吊りボルト位置に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。
- ※ 吊りボルトは、M10～12 を用いてください。
  - ※ 吊りボルトは製品を支える十分な強度を確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

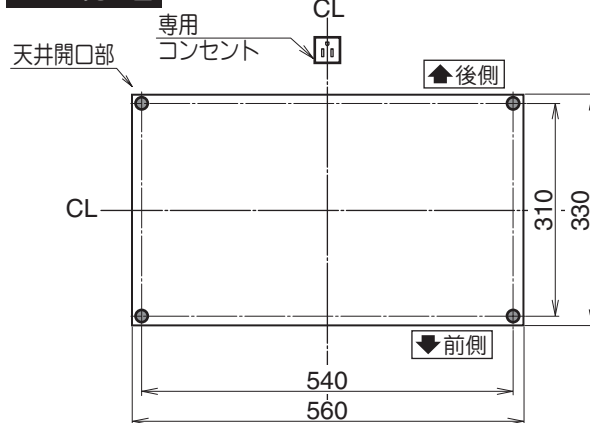
### 別売のスペーサーを使用する場合

吊りボルトの突き出し長さが異なります。  
詳しくは別売品に付属の取付説明書をご覧ください。

下から見上げた図



上から見た図



## 4 標準取付寸法

- 本製品の標準取付寸法は、IHクッキングヒーターの上面から製品の下端まで 80cm 以上です。
- ※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が IHクッキングヒーターの真上 80cm 以上必要となっています。

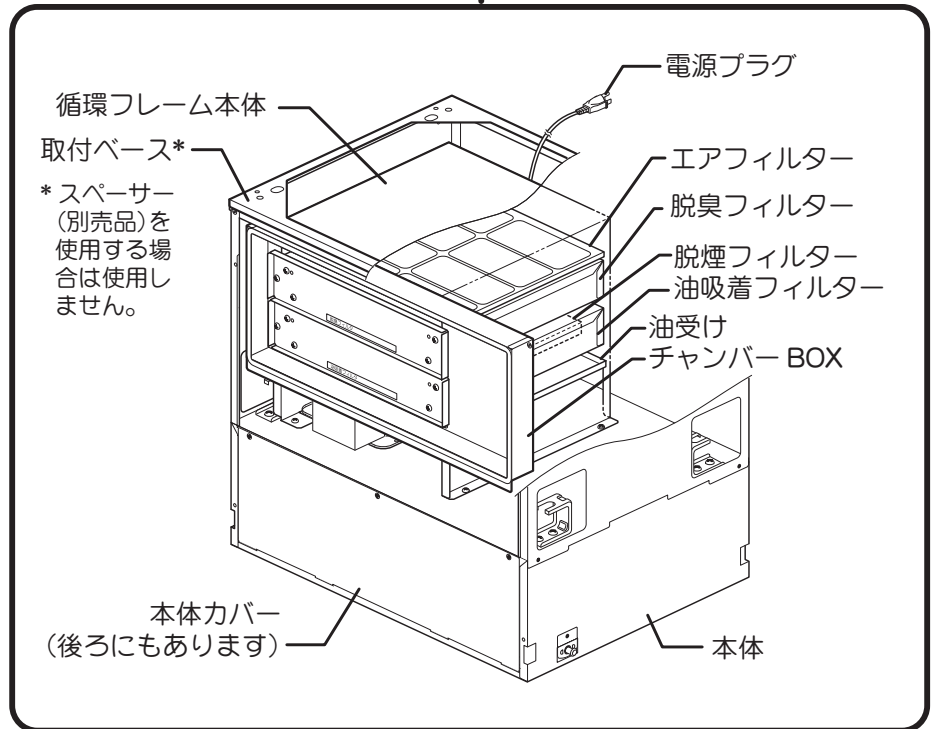
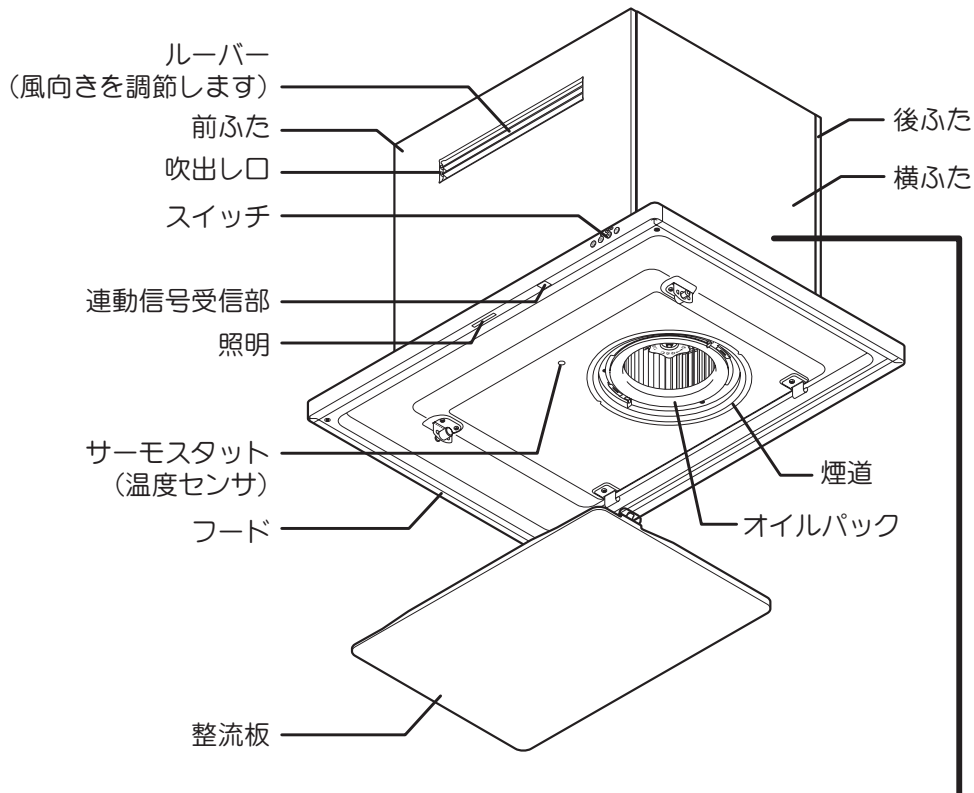
## 5 電源コンセント・ブレーカー

- 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

### お願い








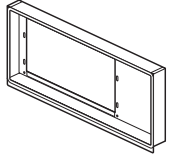
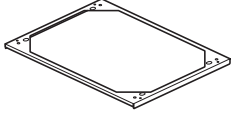
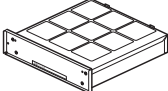
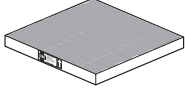
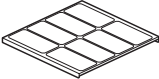
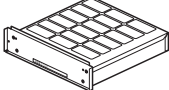
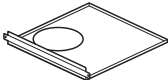
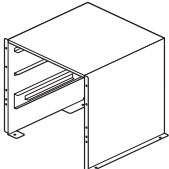
必ずアース工事 (D 種接地工事) をしてください。  
レンジフードが誤作動することがあります。

# 各部のなまえ

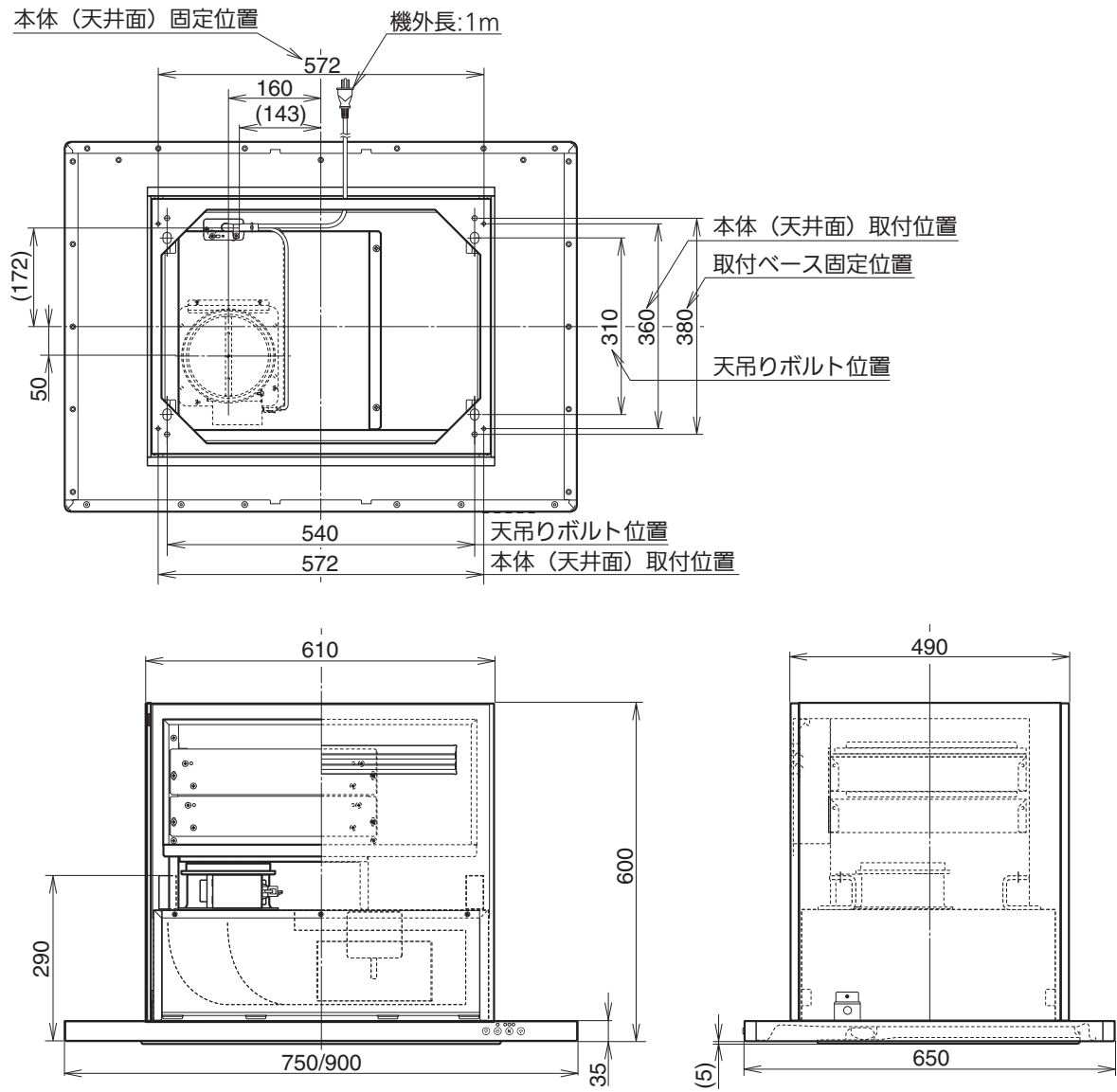




# 付属品

■ 室内循環フード本体付属品					
	トラスねじ (M5 × 10) (5本)	フードと本体の 固定に使用します。		オイルパック (1個)	煙道に取り付け ます。
	トラスねじ (M4 × 10) (12本)	循環フレーム本 体、チャンバー BOX、油吸着フ ィルター、脱臭フ ィルターの取り付 けに使用します。		煙道 (1個)	フードに取り付 けます。
	低頭ねじ (M4 × 8) (3本)	フードと煙道の 固定に使用します。		ソフトテープ (1本)	排気口と油受け とのすきまをふ さぐのに使用し ます。
	座付ねじ (φ 5.1 × 25) (8本)	取付ベース、本 体の固定に使用 します。		チャンバー BOX (1個)	幕板と循環ユ ニットをつなく のに使用します。
	取付ベース (1個) ※ 出荷時、 本体上部に テープ止め されています。	本体と天井の固 定に使用します。			
■ 循環ユニット付属品 (別梱包)					
	脱臭フィルター (1個)	循環ユニットの 構成部品です。		脱煙フィルター (1個)	循環ユニットの 構成部品です。
	エアフィルター (1個)			油吸着 フィルター (1個)	
	油受け (1個) ※ 出荷時、循 環フレーム 本体に取り 付けられて います。			循環フレーム 本体 (1個)	

# 製品寸法図 (単位：mm)



# 取り付けかた

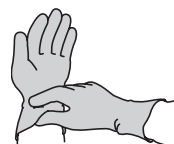
## 1. 付属品の確認

### 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

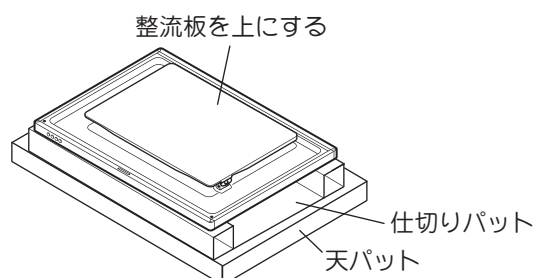
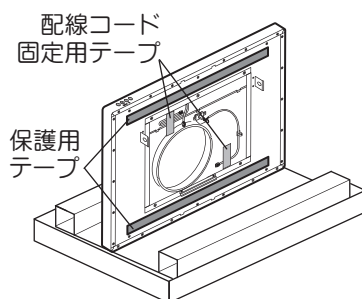
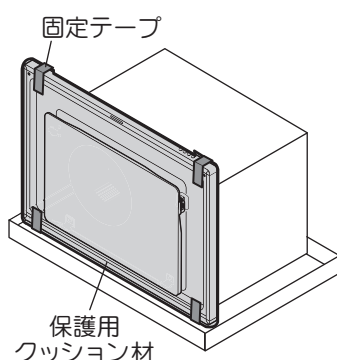


### 付属品を確認します。

本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。  
室内循環フード本体部の梱包箱および循環ユニット部の付属品収納箱から付属品を取り出し、  
9 ページの付属品一覧により不足がないか確認します。

### お願い

- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 保護用のクッション材と固定テープは「2. フード・本体の準備」まではずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ フード天面に貼られている保護用テープは「8. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」にて前ふた・後ふたを取り付けるまではがさないでください。
- ・ 配線コード固定用テープは「5. フードの取り付け」手順 2 のコネクタの接続まではずさないでください。



作業時のフードの置きかた

※ 梱包材を利用する

# 取り付けかた

## 2. フード・本体の準備

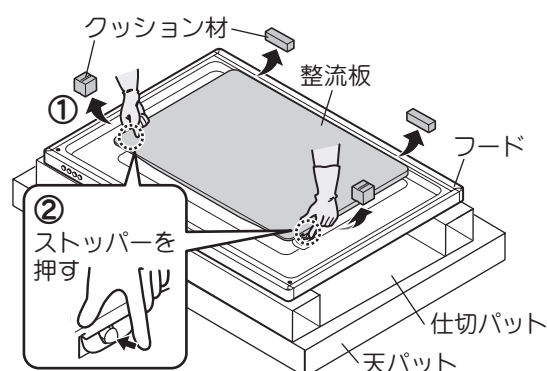
### お願い

- ・はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないでください。
- ・はずした部品は変形させないように、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。
- ・金具の変形防止のため、手順 1 の図のように必ず天パットの上に仕切パットを載せ、その上にフードを置いて作業してください。

### フードの準備

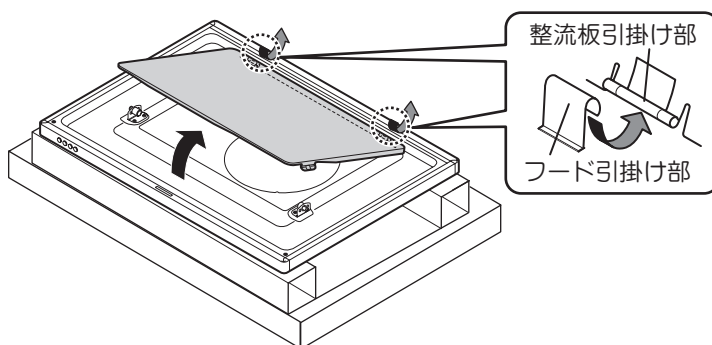
#### 1 整流板をはずします。

- 1) 保護用クッション材と整流板を固定しているクッション材（左右・後方）4ヶ所をはずし（①）、整流板の左右にあるストッパーを押してはずします（②）。



- 2) 整流板を両手で支えながらゆっくりと開き、後ろを持ち上げてフード引掛け部からはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。  
金具の変形の原因になります。



### 本体の準備

#### 1 前ふた・後ふたをはずします。

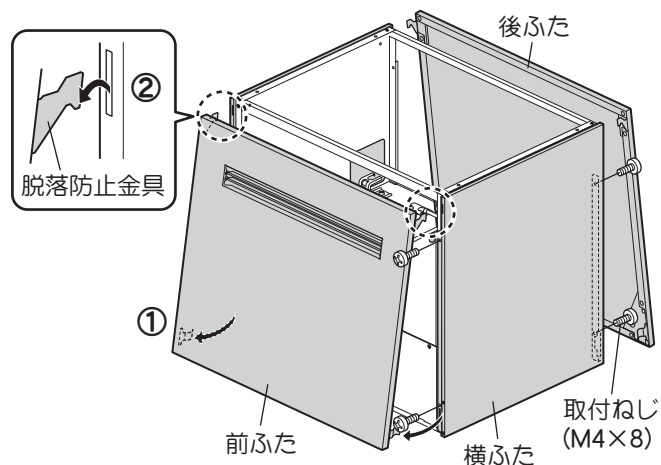
- 前ふたの下端を手前に引いてはずし（①）、前ふたを持ち上げて上部の脱落防止金具を横ふたからはずします（②）。同様の手順で後ふたもはずします。

#### 2 横ふたをはずします。

※ 両側ともはずしかたは同じです。

横ふたを固定している取付ねじ（M4 × 8）4本をはずし、横ふたをはずします。

※ 取りはずしたねじは「8. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」にて再度使用しますので、なくさないでください。

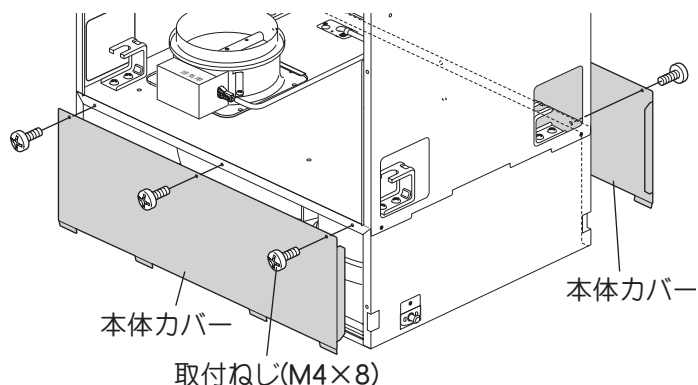


# 取り付けかた

## 3 本体カバーをはずします。

本体の下側前後にある本体カバーを止めている取付ねじ（M4×8）各3本をはずし、本体カバーを前後ともはずします。

※ 取りはずしたねじは「5. フードの取り付け」にて再度使用しますので、なくさないください。



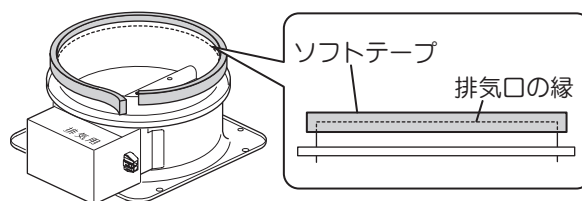
## 4 ソフトテープを貼り付けます。

付属のソフトテープを排気口に貼り付けます。

### お願い

手でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

- 1) 付属の排気口とソフトテープを準備します。
- 2) 排気口の縁から少しはみ出すようにソフトテープを巻きます（右図参照）。



### お願い

ソフトテープを右図の位置にしっかりと巻いてください。排気漏れの発生するおそれがあります。

# 取り付けかた

## 3. 本体の取り付け

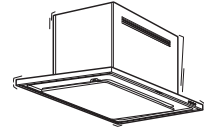
### 注意



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで  
確実におこなうこと

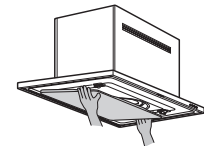
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと

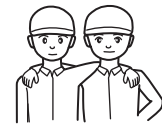
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと

室内循環フードは約 41 / 42kg の重さがあります



### 1 レンジフードの固定位置を決めます。

吊りボルトにマジックペンなどで、天井から 310mm の位置にマーカーをつけます。

#### 別売のスペーサーを使用する場合

別売のスペーサーを使用する場合は、この作業をおこなう前に、別売品に付属の取付説明書をご覧ください。

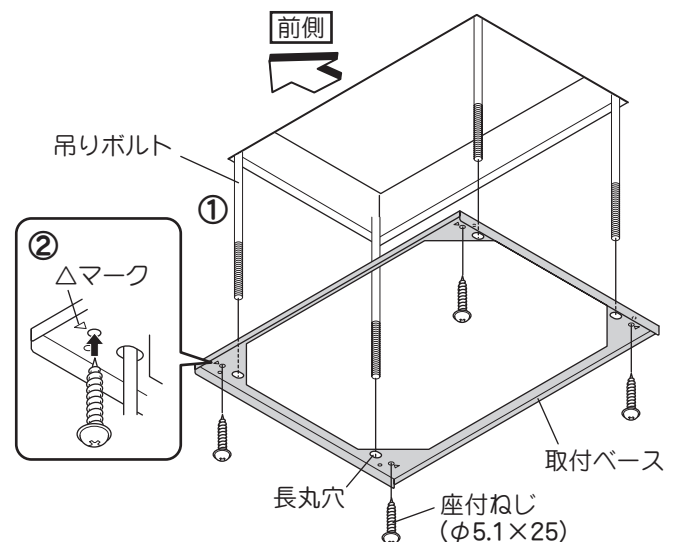
### 2 天井面に取付ベースを取り付けます。

取付ベースの長丸穴（4ヶ所）に吊りボルトを通し（①）、取付穴（△マークの4ヶ所）に付属の座付ねじ（φ5.1×25）4本をしっかりとねじ込み、取付ベースを天井面に取り付けます（②）。

#### お願い

4本の吊りボルトがそれぞれ長丸穴の中心にくるよう、取付ベースの位置を調整してください。

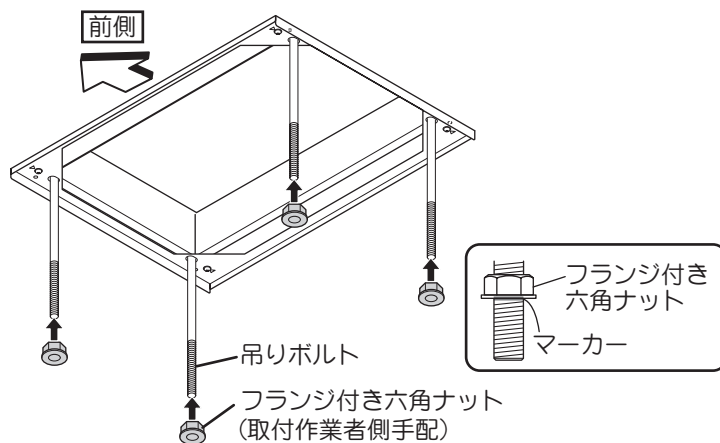
スペーサー（別売品）を使用する場合、取付ベースは使用しません。



# 取り付けかた

## 3 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。

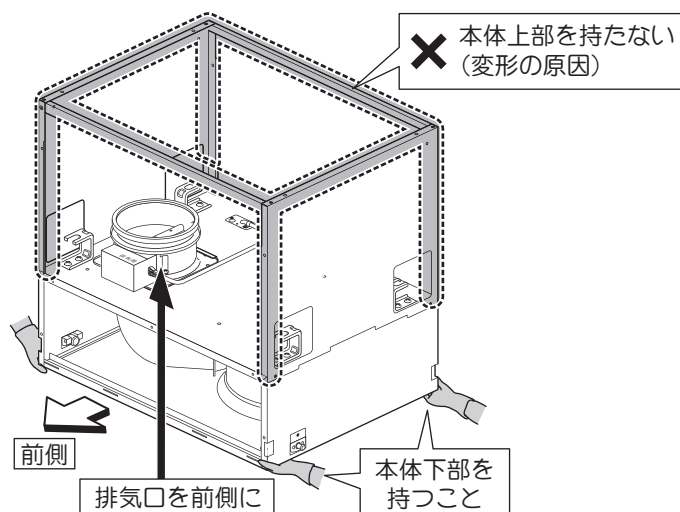
吊りボルト 4 本のマーカー位置に合わせて、フランジ付き六角ナット（取付作業側手配）をセットしてください。



## 4 本体を吊りボルトに固定します。

### お願い

- 本体を持ち上げる際は必ず下部を持ってください。上部を持つと変形の原因となります。
- 排気口のある側がフードのスイッチ側（前側）となりますので、向きを確認して取り付けてください。

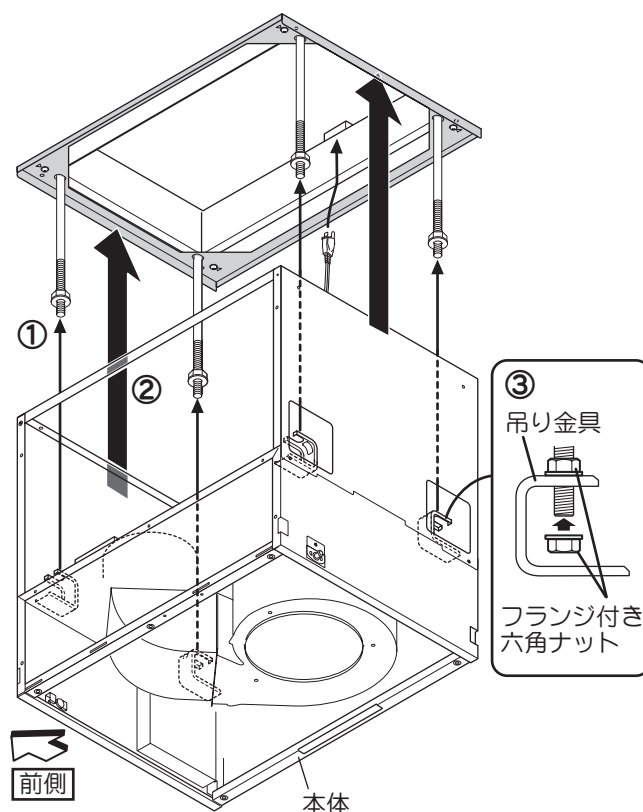


- 1) 4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み（①）、本体上部を取付ベースの内側にはめ込みます（②）。

その後、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10～12のフランジ付き六角ナット（取付作業側手配）でしっかりと締め付けます（③）。

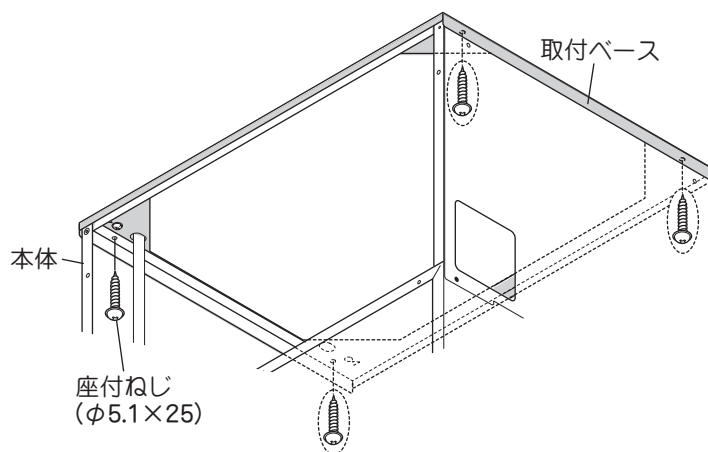
### お願い

吊りボルトに本体を差し込む際、配線をキズつけないよう十分に注意してください。



# 取り付けかた

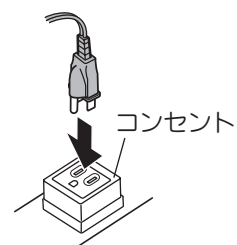
- 2) 本体と取付ベースの穴位置（右図参照）を合わせ、付属の座付ねじ（φ 5.1 × 25）4本で本体を天井面に固定します。



- 3) 「7. 電気配線」を一読してから、電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込みます。

※ 必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。

※ 必ずアース工事（D種接地工事）をしてください。





# 取り付けかた

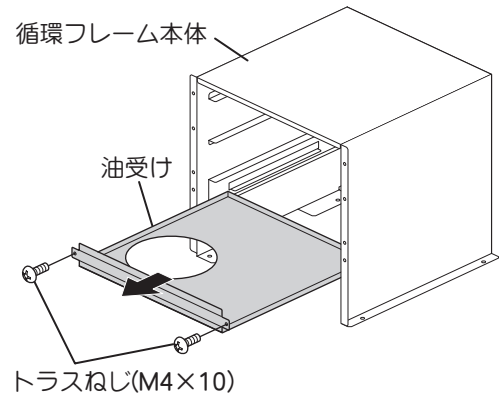
## 4. 循環フレーム本体の取り付け

梱包箱から循環フレーム本体、脱臭フィルター、脱煙フィルター、エアフィルター、油吸着フィルター、油受けを取り出し、9ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。

### 1 油受けをはずします。

循環フレーム本体からトラスねじ (M4 × 10) 2本をはずし、油受けをはずします。

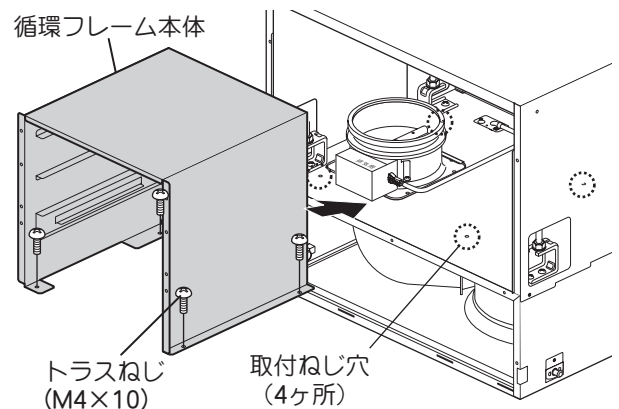
※ はずしたねじは後で使いますのでなくさないでください。



### 2 循環フレーム本体を本体天面に取り付けます。

1) 取付ねじ穴 (4ヶ所) に合わせて循環フレーム本体を前側から差し入れます。

2) 付属のトラスねじ (M4 × 10) 4本で固定します。



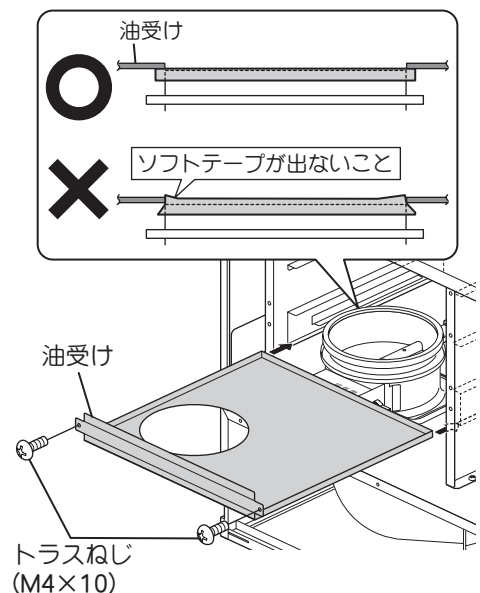
### 3 油受けを取り付けます。

1) 油受けを循環フレーム本体の一番下のレールに載せ、奥に突き当たるまで差し入れます。

2) 手順 **1** でははずしたトラスねじ (M4 × 10) 2本で油受けを固定します。

#### お願い

- 油受けの開口部 (丸穴) と排気口が合っていることを確認してください。
- 油受けの開口部 (丸穴) から排気口の縁に巻いたソフトテープが出ていないことを確認してください (右図参照)。



# 取り付けかた

## 5. フードの取り付け

### 1 フードを取り付けます。

#### お願い

- ・保護用テープは「8. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」にて前ふた・後ふたを取り付けるまではがさないでください。
- ・配線コード固定用テープは手順 **2** にてコネクタを接続するまではがさないでください。

- 1) フード後側の引掛け枠を本体後側に引っ掛けます ( **①** )。

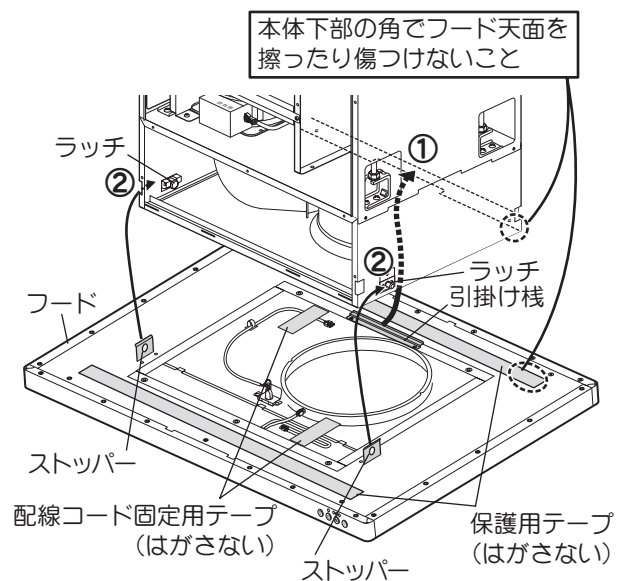
#### お願い

- ・配線を挟まないようご注意ください。
- ・本体の角でフード天面を傷つけないようご注意ください。

- 2) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます ( **②** )。

#### お願い

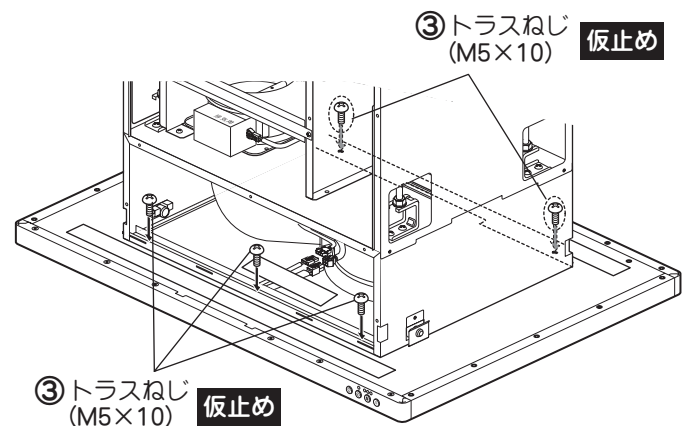
ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。



- 3) 付属のトラスねじ(M5×10)にて前側3ヶ所、後側2ヶ所を固定する前に、あらかじめ取付穴にねじを入れます。

ねじを穴に入れた後、柄の短いドライバーなどを使用して、フードを持ち上げながら本体とフードを仮止めします ( **③** )。

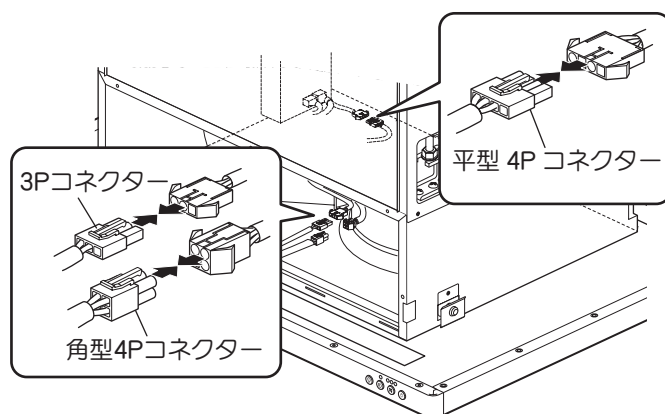
※ ここではまだ仮止めとしてください。



# 取り付けかた

## 2 コネクターを接続します。

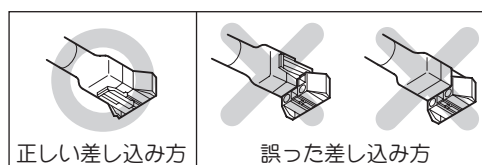
配線コード固定用テープをはがし、フードから出ている電気配線のコネクター3本(3P・角型4P・平型4P)を、本体から出ている電気配線のコネクターにそれぞれ接続します。



### お願い

#### コネクターの接続について

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

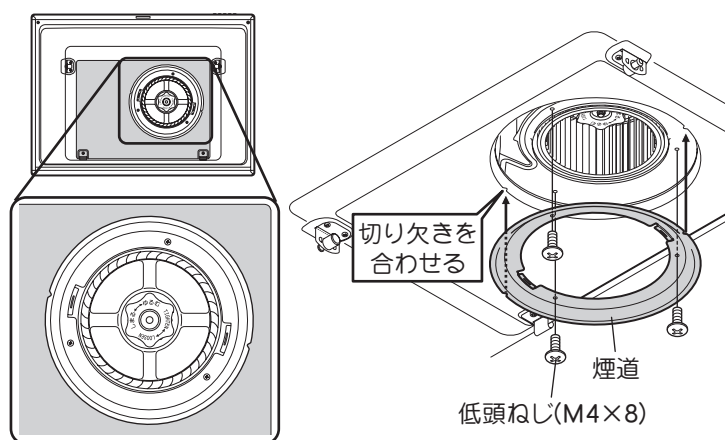


## 3 煙道を取り付けます。

付属の煙道をフード開口部の切り欠きとねじ穴に合わせ、付属の低頭ねじ(M4×8)3本で固定します。

### お願い

切り欠きとねじ穴が合わない場合は、手順1の3)で仮止めしたねじを調整し、穴位置を合わせてください。

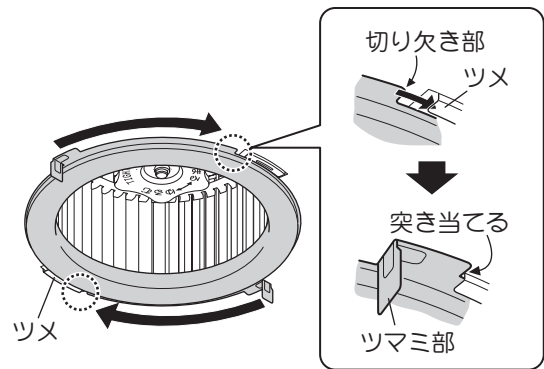


## 4 ねじを本締めします。

手順1の3)で仮止めした前側3ヶ所、後側2ヶ所のトラスねじ(M5×10)をしっかりと締め付けます。( **本締め** )

# 取り付けかた

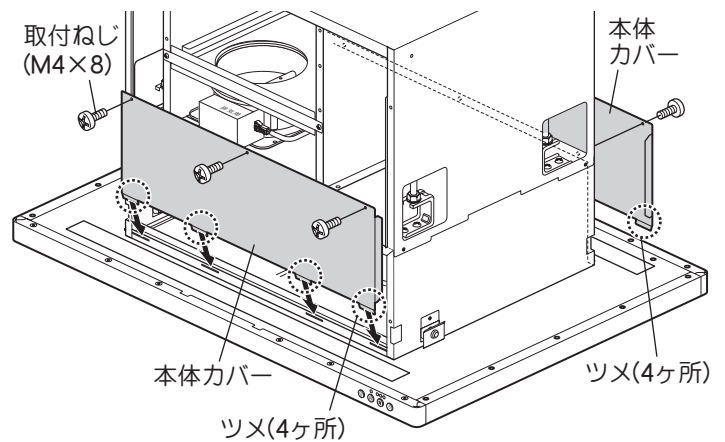
- 5** オイルパックを取り付けます。  
オイルパックの切り欠き部をツメに通して、ツマミ部が突き当たるまで回します。



- 6** 本体カバーを取り付けます。  
「2. フード・本体の準備」手順 **3** で取りはずした本体カバー 2 枚を、本体の前後下側に、はずした取付ねじ (M4 × 8) 各 3 本で取り付けます。

## お願い

本体カバーのツメ (各 4ヶ所) をしっかり差し込んだことを確認した上で固定してください。

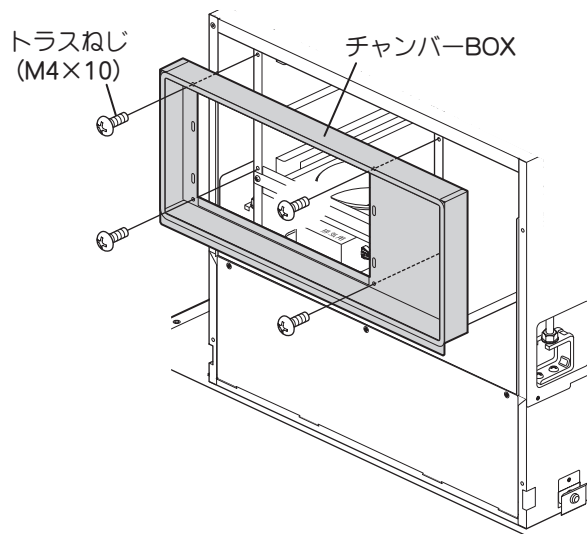


- 7** 整流板を取り付けます。  
「2. フード・本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順で整流板を取り付けます。

# 取り付けかた

## 6. 各フィルターの取り付け

- 1** チャンバー BOX を取り付けます。  
循環フレーム本体の前面に、チャンバー BOX を付属のトラスねじ(M4×10)4本で取り付けます。



- 2** 各フィルターを取り付けます。

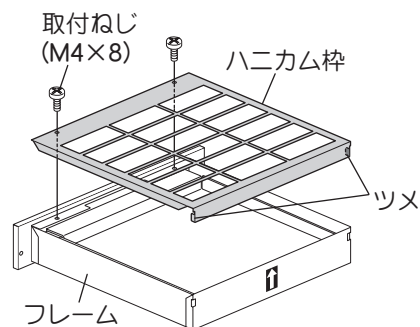
### お願い

- 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。  
落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部を破損するおそれがあります。
- フィルターの粉が落ちる場合があります。  
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

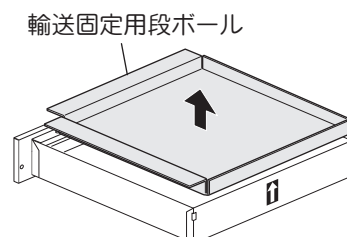
### ■ 脱煙フィルターの組み立て

脱煙フィルターは油吸着フィルターに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

- 1) ハニカム枠上側の取付ねじ (M4 × 8) 2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。



- 2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。

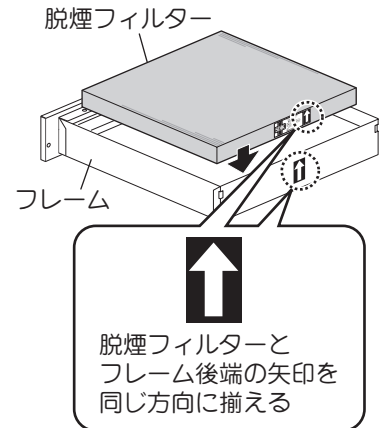


# 取り付けかた

- 3) 脱煙フィルターを袋から取り出し、フレーム後端の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルターをセットします。

## お願い

必ず脱煙フィルターとフレーム後端の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。

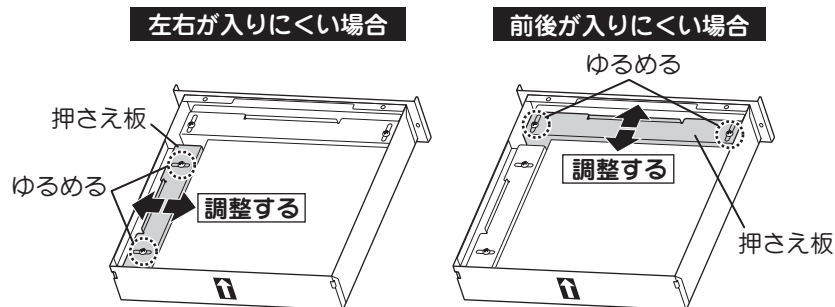


## 脱煙フィルターが入りにくい場合は

脱煙フィルターの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。

脱煙フィルターがフレームに入りにくい場合は、下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルターを挿入してください。

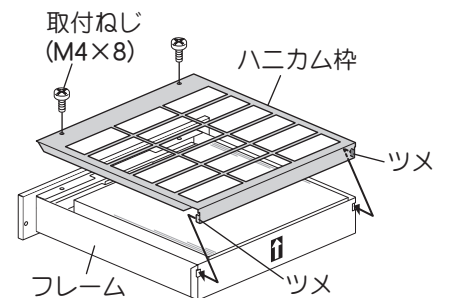
挿入後は脱煙フィルターにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。



## お願い

脱煙フィルターを挿入した後は、脱煙フィルターにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

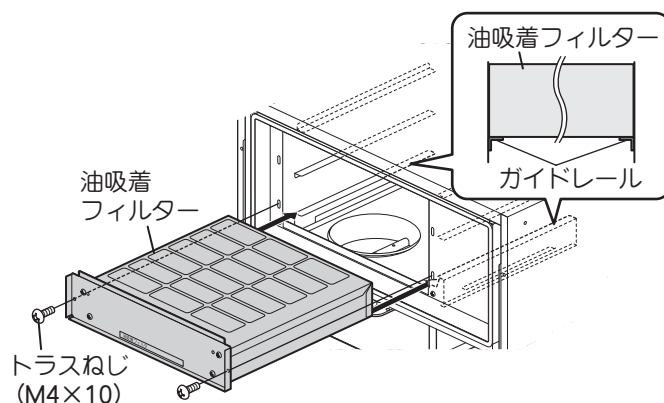
- 4) ハニカム枠後端のツメをフレームの穴に合わせてふたをし、はずした取付ねじ (M4 × 8) 2 本で固定します。



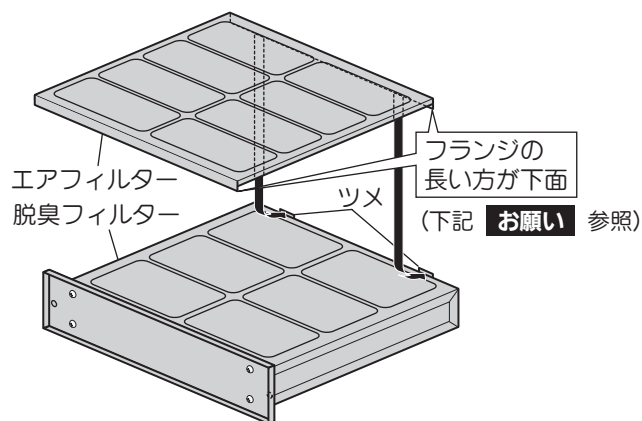
# 取り付けかた

## ■ 各フィルターの取り付け

- 1) 油吸着フィルターを図のように差し込み、付属のトラスねじ(M4 × 10) 2本で固定します。

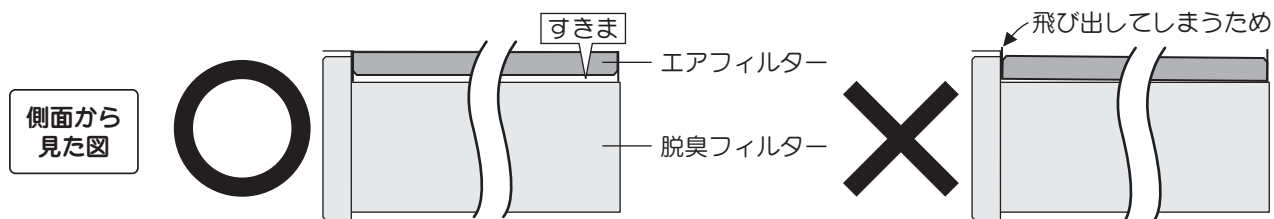


- 2) 脱臭フィルターの奥側のツメに当てるようにしてエアフィルターを載せます。

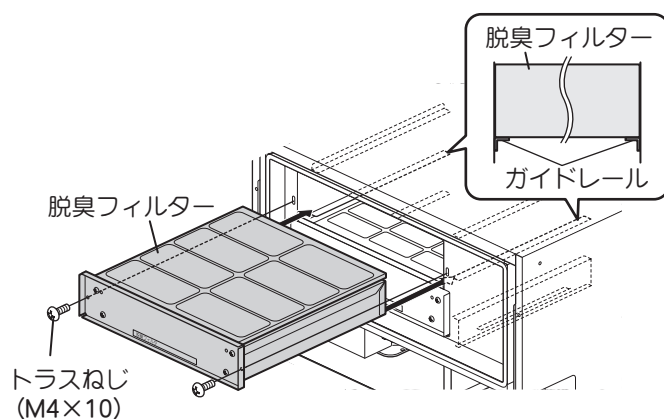


### お願い

エアフィルターを載せる際は、脱臭フィルターとエアフィルターとの間にすきまが空く面を下側にしてください。



- 3) 脱臭フィルターを脱煙・油吸着フィルターの上に差し込み、付属のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



# 取り付けかた

## 7. 電気配線

### 警告



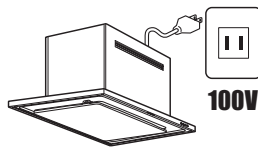
分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください

■ 「3. 本体の取り付け」手順 **4** の 1) で以下の作業をおこないます。

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

#### お願い

- ・ 電源は専用のコンセント（2極接地極付差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- ・ 「11. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- ・ コンセントは電源コードの長さ（機外長約 1m）を考慮し、設置してください。
- ・ 必ずアース工事（D 種接地工事）をしてください。



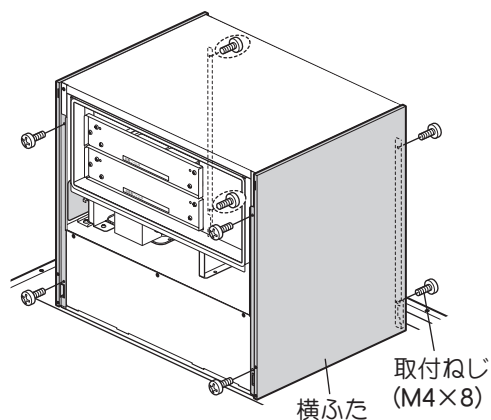
# 取り付けかた

## 8. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

### 1 横ふたを取り付けます。

「2. フード・本体の準備」ではずした取付ねじ(M4×8)各4本で、横ふたを取り付けます。

※ 横ふたは左右同一品です。

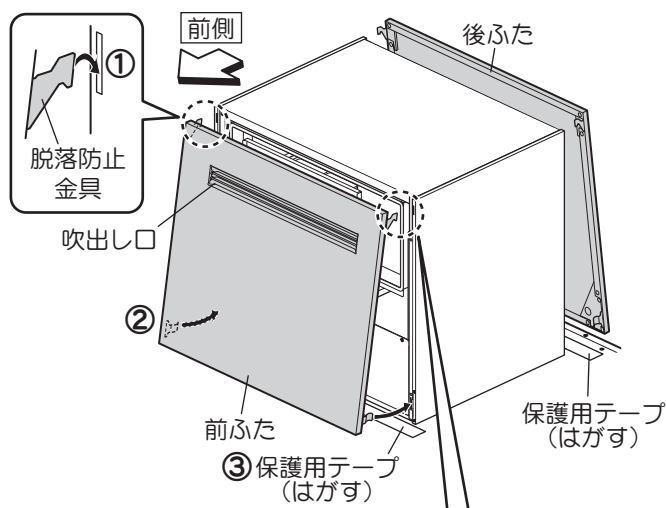


### 2 前ふた・後ふたを取り付けます。

上側の脱落防止金具を差し込み ( ① )、下側を持ち上げるようにして本体に取り付けます ( ② )。

※ 吹き出し口のある前ふたを、必ずチャンバーBOXのある側に取り付けてください。

※ 前ふた・後ふたを取り付けた後、フード天面の保護用テープをはがしてください ( ③ )。



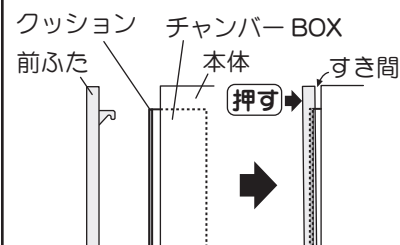
#### お願い

前ふたと本体の間にすき間がないことを確認してください。

#### ■ 前ふたと本体の間にすき間があいてしまう場合

チャンバーBOXのクッションにより、前ふたと本体の間にすき間があいてしまう場合は、前ふた上部を本体に押しつけ、すき間をなくしてから前ふた下部をラッチに固定してください。

#### ■ すき間があいてしまう場合

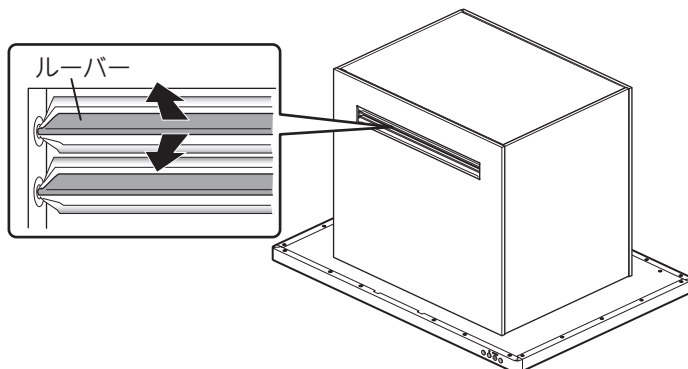


# 取り付けかた

## 9. ルーバーの調整

ルーバーの向きを調整します。

前ふた上部にある吹出し口のルーバーの向きを、適宜調整してください。



## 10. 取扱説明書の取りはずし

- 保護用クッション材と整流板を固定しているクッション材（左右・下面）4ヶ所が取りはずされていることを確認してください。
- 整流板に貼り付けてある取扱説明書ははずします。

# 取り付けかた

## 11. 試運転

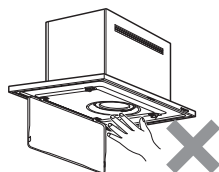
### 注意



接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に  
入れないこと

けがをするおそれがあります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しないこと

内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・ボンド等）を使用中や使用直後に運転すると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し口から放出され、健康を害するおそれがあります  
施工時は別途換気をおこなってください

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速度調整による室内循環が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の吹出し口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

## 12. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

